

新型コロナウイルス感染症に伴う5月2日以降の対応

カトリック仙台教区 事務局長 小松史朗

新型コロナウイルスによる感染症の拡大が止まりません。前回の3月27日の段階では仙台教区内4県を合計しても、10数例でしたが、4月15日の段階では、160例を上回る状況です。日本全国では10,000人を超える勢いであり、一向に感染者の増加に歯止めが掛からないのが現状です。この状況を勘案して、基本的に5月2日以降も前回(3月13日発表)の対応を延長することと致しましたので、具体的な対策をお願いいたします。

1. **5月2日(土)から6月6日(土)まで**、すべてのミサ(集会祭儀)、集会、講座など、不特定多数の人々が集まる集会を行わないこととします。**主日のミサの義務は免除されます。**各自で、その日の朗読箇所などを読み、祈るようにして下さい。

○小教区(司祭)によっては、「少数なのでミサを捧げました」との報告も受けています。信徒の皆さまの信仰を支えるのは、今はミサ(長い時間の拘束、感染のリスク大)ではなく、祈りと聖体拝領(最小限の感染リスク)であることは明らかです。

2. **主日ミサの聖体拝領を望む方のために、司祭が小教区において聖体の授与をすることも、継続します。ただし、次のことに一層注意をしてください。**

○聖体拝領の始まる時刻は、もともとのミサの開始時刻である小教区が多いのですが、出来るだけ時間差を作り、一度に集まらない状況を小教区ごとに工夫して下さい。

○聖堂内には長く留まらず、聖体拝領が終わり次第、速やかに帰路に着くようにお願いします。

3. 結婚式や葬儀などは、担当司祭、関係者と十分な感染防止対策を相談の上、行うようにして下さい。
4. ミサ以外の諸行事に関しては、規模が小さい集まりを除いて、できる限り延期または中止するようにご配慮ください。**この時期は、小教区の教会総会の時期に重なりますが、実施を延期することを地区内の司祭と協議して下さい。**
5. この通知を、**5月1日(金)までに信徒の皆さまに様々な対応を工夫して周知して下さい**るようお願い致します。**特に外国籍信徒にも可能な限りお知らせ下さい。**
6. 前回送付した「新型コロナウイルス感染症に苦しむ世界のための祈り」がカードになりました。凡その枚数を送付いたしますので、お祈りする際にお使いください。更に必要な場合は教区本部まで連絡下さい。

今回の決定は、4月14日開催の仙台教区司祭会で話し合った上で決議しました。

※6月以降のことは状況を見たうえで、5月中旬には判断し、あらためて通知したいと考えて居ります。